

# MATSUDOING2050

## 意見募集①まとめ(公開用)

Q1. あなたが松戸で叶えたい「wish(=何をしたいのか)」とは？

Q2. あなたが松戸で叶えたい「wish(=何をしたいのか)」を叶える公共空間とは？

※意見を複数個で投稿していただいた方の意見は1つにまとめています。

### 001

**A1.** 松戸市は多くの貴重な文化資産を収集しています。近代日本デザイン史の礎ともなる千葉大学工学部の美術品・資料・コレクション。戦前パリで活躍し松戸に住んだ奇才画家の板倉鼎・須美子夫妻の優秀な作品群。様々なゆかりのアーティストなどの沢山のコレクション。この世界的な宝を相模台に文化のシンボルとして美術館を建設し貴重な財産公開を！

**A2.** アートの地としてのシンボルである相模台に松戸セントラルパークを土台とした美術館を軸に公共の文化施設を配備し文化都市松戸をアピールする場としたい。

### 002

**A1.** 横張先生が仰っていたように、私たちやこれから2050年に向かって生きていく人たちは、これまで当たり前に入りに入るものと思っていたものが手に入らない大変な時代を生きていかなければいけない。私が松戸で叶えたいwishは子供たちにいい場所で育つたなと思ってもらえる場所を作っていくことです。

**A2.** 緑豊かで明るく開放的な空間の中に、いつ来ても遊び心と学び心を満たしてくれる仕掛けが沢山ある公共空間。松戸の文化遺産を大切にしながら、地元の人、海外の人、子どもから年配の方、プロ、アマいろんな人が企画して作品展をしたり、コンサートや、コーヒブレイクができる、開けた美術館。というコンセプトを持ち続けられる場所。

### 003

**A1.** 私のwishは、松戸に住む、訪れる、人と人との繋がりをつくること

**A2.** 空間は、文字通り空っぽのスペースがあれば良い。屋外なら地べたに座れて寝転べる芝生公園。屋内ならスポーツの歓喜やライブ音量も楽しめる防音空間。一定のルールだけ設け比較的的自由。催されるアイデアや訪れる人々の繋がりが、息吹きとなり、街を育む。

### 004

**A1.** 松戸を老後も住みやすい街にしたい

**A2.** 松戸を観光地にするのではなく、住んでいるひとが快適であるようにという視点を持つ。高齢の単身世帯又は高齢者のみで構成する世帯が増加することを踏まえ、ある程度経済的にゆとりのある高齢者に魅力を感じてもらえるまちづくりをする。以下、具体的に6点を挙げます。

1. 電柱や凸凹のない歩きやすい歩道
2. 高齢者や足の不自由な方が遠回りする必要のない道路(たとえば西口のロータリー出口に歩行者を遠回りさせない横断歩道が必要)
3. 徹底した防災対策(市庁舎建て替えを含む)・医療体制
4. 安全に、静かに四季を楽しめる公園

5. 車を運転しない人も便利に暮らせる商業施設(駅前歩いて回れる範囲内で日用品から高級品まで何でも揃うことが重要。たとえば、地域密着型の新しい百貨店のモデルケースをつくる、オンラインショップのショールームを集合させた施設をつくる、などなど)
6. 友人や親戚などをもてなせる場(ゆったりと静かに食事を楽しめるレストラン、お洒落なメインダイニングやバンケットを備えたきちんとしたホテル)

以上、6項目です。

## 005

**A1.** 線路上を現在の改札口の高さの床で繋ぎフィレンツェの橋状市街の様に魅力の中心とする。相模台に、市庁舎、美術館、図書館、遊園地、公園などの文化施設。高台である事を利用した災害施設などを設ける。特に美術館の設置は松戸市という古くからの美術のメッカであった上野に近くすぐれた芸術家を輩出しており今後もその立場は変わらない。

**A2.** 松戸市の未来において、そこに住むであろうとする人々が、いかに生き生きと希望に満ちて活動していけるかを考えて松戸市の中心部を設計する責任が全ての参加者にあると考える。先ず松戸市が既に持っている都市としての価値はどの都市と比較しても計り知れない高さである。

松戸市が自ら独自の価値を算出すると共に、東京都という首都の文化で活動する人々の活力と感性を涵養すべき役割を背負った生活空間であることは地理的必然で現在もその役割を果たしているが、今後更にそれを躍進させ内外に知らせるべきことである。そのために現在取り組んでいる駅周辺の魅力的な改良は重要である。

先ずJRの路線によって東西に市街が断ち切られているこれをより魅力的な方法で連続的な市街とすること。線路上を現在の改札口の高さの床で繋ぎフェレンツェの橋上市街のように魅力の中心とすること。

現在国道6号沿いの土地に市庁舎、美術館、図書館、遊園地、公園、などの文化的施設、高台であることを利用した災害対策施設などを設ける事。特に美術館の設置は松戸市という古くから美術のメッカであった上野に近く、優れた芸術家を輩出しており今後も立場は変わらないであろう。

今後も児童生徒が優れた美に触れて心を休め、美を追求しようとすることは松戸市の長い将来にわたる人材育成の源となるであろう。

旧水戸街道、江戸川沿いは歴史的風景や産物を生かした松戸市の観光地として開発すること。

## 006

**A1.** わたしのwishは、松戸中央公園で、近くで買ったパンを食べたり景色を眺めたりしてゆったりと過ごすことです

**A2.** 松戸駅から台地へのアクセスの向上、公園やその周辺にベンチを設置するなど居心地の良い空間づくり、景観に配慮した建物整備を望みます

## 007

**A1.** 私の松戸wishは川を超えると低地が広がる都内から一転、緑に囲まれた台地が広がる緑園都市をアピールすることです。

**A2.** 東口の高台に公園とシンボリックな融合的公共施設を作ると共にその高台に向かって駅から単なる通路ではなく、建物のように複層化した(空港のような)広間でつなぎ、多くの人が留まって楽しめる空間にしてほしいです。

## 008

**A1.** 私のwishは、松戸の特産品を使ったおいしい料理を食べたり作ったりすること、おいしいお店の情報交換などです。

**A2.** 松戸の特産品を使った料理を中心とする料理教室を開催すること、その近くに情報収集ができる図書館や、市民同士の交流、情報交換の場となるようなカフェがあるといいと思います。

## 009

**A1.** 私が松戸市でしたいことは、以下の4点です。

1. 松戸市の再開発によるブランディング(市民が誇りが持てるまちづくり)、
2. 100年注目されるまちづくり(30年後の東葛の中心都市へ)、
3. 歩いて楽しいまちづくり、
4. 産官学から福祉も市民も全員参画のまち(ILoveMatsudoのまち)。

今市民に求められるのは、市民が市のよりよい将来のために、考え、行動することです。このため、私が市役所の方に求めたいのは、以下の点です。①今後も、こうした意見交換会は定期的に実施して欲しい。②多様な分野の市民同士をつなげ、より多くの市民が自主的に考え行動するにはどうすれば良いかよく考えて欲しい。

松戸の公共空間について、テッテ須賀川はイメージと異なります。1～5回の議論ともズレます。藤村先生が対談で問題提起されたように、歩く人を増やす手法に主眼を置くべきです。私は常盤平に住んでいますが、松戸駅には一切行きません。テッテができれば、1回行って終わりだと思います。もう一度議論を振り返って欲しいです。

**A2.** 最後にA2について、水辺(坂川、江戸川)と、緑(中央公園～戸定公園)と、歴史(宿場、戸定、中央公園)を生かし、その間の回遊性を確保し、ブルックリンのような解放感あるまちづくりをし、関東で随一の魅力的な都市とする。これを市民全員参画で実現する。

末筆ながら、関係者の大変なるご尽力にいつもいつも心から感謝しております。このような場をご準備いただき、そして、読み返しても、勝手な意見ばかり申し上げ申し訳ありません。ありがとうございました。

## 010

**A1.** 私のwishは、松戸の伝統芸能を広く市民に知って貰い、各々の情報を交換する等の交流をする事です。特に後継者の育成をしていきたいです。

**A2.** 稽古や集りが出来る様な、例えば空き家等の場所を提供して貰い、その発表会や交流が出来る様な場所があればいいと思います。そして、それらの集大成としての「祭」がしたいです。

## 011

**A1.** 私のwishは歴史と緑を楽しめるコースを散歩することです。

**A2.** 松戸神社から千葉大学園芸学部へ抜ける坂川沿いの整備、途中に休憩したり飲食のできるステーションがあって、そこで誰かと交流できれば嬉しいかな。

**A1.** 松戸が多様な問題を抱える人(高齢者・児童・障がい者など)が生きやすい街になること。

**A2.**

1. 中心市街地の東西南北を回遊する道路への車両制限を設け、歩行者専用道路を作る。お年寄りや子連れも歩きやすい商店街、随所に座れるベンチや木陰・無料で水が飲める場所を作り、いつまでも住みたい街に。緑と憩いの場があふれる街に。
2. 老人施設・障がい者施設・保育園など、単一目的の施設ではなく、多様な人が少しずつ重なり、にじむ様に生活することで、助け合い、人を思いやる気持ちが生まれる複合施設に。施設もだし、町全体が包括的な支援を前提に。廃校なども利活用。
3. これらの多様な問題を抱える多数の当事者が街づくりにも参加すること。また、課題解決の過程に学生(中・高・大学生)にも参加してもらうことで、街に愛着を持ってもらい、様々な問題を自分事として感じてもらう。未来の街づくりキーパーソンを育てる。
4. SDGsの視点を大いに取り入れ、誰一人取り残さないまちづくりをめざしていきたい。
5. NPOなどと協力して、廃棄されるような規格外の野菜を子ども食堂や学校給食、フードパントリーなどで貧困家庭に届ける仕組み(施設?)を作してほしい。

**A1.** Wish②は、歴史観光資源・自然資源を最大限活用し、松戸が「寝るための街、通り過ぎる街」から「過ごしたい街、行きたい街」になること。人生の中で、いつか街の駅やカフェなどで、当事者の一員となって街を盛り上げたい。

**A2.**

1. 戸定邸への歴史観光通りを作る。江戸末期～明治・大正時代の建物の空き家活用・復元・関連事業への助成をして頂き、古き良き建物を残し、ほかにないレトロな街並みに。ハイカラな衣装体験や撮影館なども名物に。
2. 「草加リノベーションまちづくり」のように、市にはワークショップや助成をしていただきながら、民間の力を最大化し、官民一体となってエリア価値を向上させる。若い起業家がチャレンジできる街に。
3. 江戸川・坂川は景観を楽しみながら、健康と学び・遊びをかなえる空間に。サイクリングやジョギング、遊歩道の整備のほか、アスレチックや川遊びなど、子どもがめいっぱい体を動かせる場所を作してほしい。
4. 男女や年齢、障がいの有無に左右されず幅広い人が楽しめるスポーツ・遊びが複数体験できるスポッチャのような施設。官民協力で、安価に、より幅広い世代で使える場所。(パラスポーツやe-sportsなども)
5. 松戸市内の農作物を利活用する飲食店や特産品加工への助成があり、道の駅のほか、市内にも街の駅が設置されている。松戸のおいしい野菜を地産地消できるネットワークと施設がある。
6. 市民交流施設として図書室、楽器、3DプリンタやDIY工具などを自由に使える部屋、科学と芸術の丘の常設展、パラダイスエアなどアーティストの期間展示があり、子どもが無料でいろいろな体験ができる施設。

009さんの2通目に賛成です。議会が全てを決める松戸ではなく、市民の意見や思いが反映できる松戸にしてください。松戸市民みんなが主役になれる街というコピーをかかげたグループがありましたが、人が財産です。

## 014

**A1.** 私のwishは美術を学ぶことです。

**A2.** 様々な種類の美術書が読めたり、美術作品が飾られていたり、アーティストとのワークショップが出来るような場所が融合された公共空間が出来たら素敵だと思います。それは、専用の施設というよりも図書館等の公共施設の中にあると様々な活動と結び付き、より開かれた学びの場となりよいと思います。

## 015

**A1.** アートやクラフトのワークショップやイベントに友達と参加することです。松戸において！と言えるようになりたい。

**A2.** 日常的に楽しめるアートスタジオがある公園

以前戸定邸で「科学と芸術の丘」というアートイベントがあったのですが、ふらっと訪れて興味を持ったら参加する形式に良さを感じました。

ワークショップというとハコの中で(個人の家とか公民館とかで)やるイメージですが、中央公園に例えば夜や雨といった自然環境を活かせるような、半屋外空間としてのスタジオがあったら楽しそうです。壁のない教室のように外から様子がわかり、スタジオ自体がショーウィンドウになるような空間があったら素敵だなと思います。

園芸学部の学生も巻き込んだイベント等もできるかもしれません。

中央公園:日常的に楽しむ

戸定邸(科学と芸術の丘):年に数回、周期的

PARADISE AIR:滞在型、偶発的

というように、街の中でアートのさまざまな楽しみ方が広がると、これらの拠点を中心に松戸の魅力が生まれてくるのではと思います。

## 016

**A1.** 今回の質問の意図とは違いますがワークショップが最後になりましたので教えて下さい。ワークショップで沢山の素敵な夢を見せて頂きましたが、この夢の完成を30年後まで誰がどのように紡いで行って下さるのかを知りたいのです。

実は30年前にも松戸駅前開発があり、ビルの3階に市の歩道ができましたが、工事が途中で頓挫して30年後の今もそのままになっています。

前の様に途中でストップする様なことがないかと住民は危惧しています。私は30年後まで生きられません完成するまで誰が責任を持って下さるのか、どの様に若い人達に繋いでいって下さるのか教えて下さい。

**A2.** 東口駅前中央公園で遮られて狭い空間ですので、なるべく車道を少なくして、歩道を広く、素敵に美しく、楽しく歩ける様に、子供やお年寄りもたくさん歩いて元気で健康になってほしい。

歩く人や散歩をする人が多くなれば素敵なお店も沢山来るとし街も活気づいて市の税収も増えますよ。

## 017

**A1.** 私のwishは江戸川でパブリックビューイングや屋外映画鑑賞、BBQ,キャンプをすることです。

**A2.** 江戸川の近くにある公共トイレに増築し、水洗い場やシャワー、脱衣場、倉庫等を簡易的に整備し、江戸川をより魅力的に体験するためのベースが欲しいです。ジョギングやロードサイクル等のベースとしても活用できると思います。

## 018

**A1.** 近年では、去年の千曲川氾濫でご存じのように、100年に一度といわれるような豪雨による災害が発生しております。特に江戸川、坂川と常磐線に挟まれた地域では、豪雨災害発生時、高台に避難するための道路も少なく、住民の避難は困難を極めます。広軌の簡易オーバーパスなど常磐線を超えられる施設を作り、この地区の住民全員が「スムーズに避難」できるようにしたいと思います。

**A2.** 松戸駅近くの中央公園を緑の芝生で覆い、「誰もが自由に遊べる緑の公園」にすることです。もう松戸市では公共施設の設置は必要ありません。市役所でも立派なSRC構造の建物です。そんなに壊れる建物ではありません。公共の箱物を作ることは後世に負債を残すこととなります。

日本の人口推計を見ても松戸市民の減少は免れません。この減少する市民に負債を負わせることは、より市の人口減少を促進することになります。

松戸駅から直接「遊びのできる美しい公園に行ける」、これこそ「松戸市のシンボル」になると思います。

## 019

**A1.** 私のwishは新しいことに出会うことです。

**A2.** コンサートや、演劇、展覧会、市民活動等が閉じた箱の中だけでなく、開かれた場所で行われていて、そこに行くだけで様々な新しいことに出会える公共施設が出来ると良いと思います。また、それらは建物の中だけでなく、外にもはみ出ている街を歩いている人からも感じられると良いと思います。

## 020

**A1.** 生きている間全ての場面をとおしての高品質居住地域の実現です。

**A2.** 複合施設(医療センター:市役所:図書館:屋内屋外運動施設:駐輪駐車場:貸会議室、スペース:ホール:中央公園の維持:お洒落な飲食、物販店舗街:)建てた後も市財に頼りすぎないで済むような(維持管理、改修改装、収益も賄えるような)建物です。

## 021

**A1.** 江戸川の流れる街”まつど”

江戸川沿いの景観を取り込んだ総合文化施設を望みます。

**A2.** 江戸川河川敷のスポーツ広場を親子や子供達が楽しめる広場に整備すると同時に、その景観を楽しみながら図書館、美術館、音楽ホール、カフェを取りこんだ総合施設があれば多くの人たちが集う場になる。

・松戸駅から江戸川沿いまで直線道路が整備されている「散歩道」としても楽しみたい。

・松戸駅を中心とした文化施設は点在、市民にもわかりづらい、その意味でも総合文化施設は有効と考える。

## 022

A1. 誰もが大好きな松戸にしたい。

A2. 芝生でくつろげる公園にはカフェがあったり、周辺には松戸産の食材を提供するお店や地元の若者がチャレンジ的に出店するお店があり、空間や建物で官と民が交わっている。また、ハコモノはコンパクトで見通しの良い空間にして、学生や駅の利用者が足を延ばしたくなる空間ができればよいなと思います。

## 023

A1. 私のwishは、平日仕事帰りに松戸駅近くのホールで開催されるコンサートや観劇に行くことです。

A2. 松戸駅の近くに、行政主催の講演会からアーティストのコンサートまで幅広く使用できるようなホールがあれば、ホールのイベントに参加した人が帰りに近くで食事をしていくなど、松戸駅周辺の賑わいにも繋がるのではと思います。

## 024

A1. 私のwishは、街中でくつろいで過ごすことです。目的地まで行って帰って終わりではなく、その移動も楽しめるような歩き回れる街が良いと思います。

A2. 公共空間には自由度を持たせ、市民や企業や市が様々な使い方をします。様々な目的を持った人が足を運ぶようになれば、周辺の活性化にも期待ができるのではないかと思います。

## 025

A1. 私のwishは、常時・非常時ともに市民ボランティアとして活躍したい。

A2. 自らが災害等で被災している場合は、ボランティアをする余裕があるかどうかは分かりませんが、出来る限り地元のために協力したいと思っています。

その際に、全国各地や地元からのボランティア受け入れや、その指令機能を発揮するHQとしての市庁舎には、あらゆる事態を想定した強靭性を期待します。常時にあたっては、市民ボランティアだけではなく、様々な市民団体がコミュニティの輪を広げられるコモンスペースがあれば嬉しいです。

複合・融合としては、庁舎機能・ホール機能(収容)・広場機能(コミュニティエリア、物資やボランティア受け入れ)・創エネ機能(環境性、非常時対策)が集まると安心です。

## 026

A1. 私のwishは日用品の買い出しのついでに図書館を利用し、屋外でコーヒーを飲みながら読書を楽しむことです。

A2. 図書館・カフェ・芝生の広がる公園といった複合した施設にスーパーやドラッグストアなどの商業施設が複合した空間が必要かと思います。

## 027

A1. 私のwishは松戸でアウトドア体験ができること、また外で過ごせる(散歩ができる)雰囲気街全体にあることです。

A2. 例えば、江戸川河川敷にキャンプエリア、中央公園に芝生広場と飲食ブース、千葉大学松戸キャンパスで農業体験、西口公園に昔遊び体験(竹馬、焚火等)等多世代で交流できる場等、各エリアにアウトドアスポットを配置することで、街中を行き交う人が増え、アウトドアの明るい雰囲気が街全体に広がるのではと思います。

## 028

**A1.** ①働きやすく、②分かりやすい街にしたい。

**A2.** ①松戸駅周辺にはテレワーク用の施設やちょっとした会議を開ける施設があればわざわざ職場に行かなくても仕事ができるため、そういった環境づくりで先進的な取り組みをする街になってほしい。

松戸駅周辺(特に東口)は建物が乱立しておりどこに何があるか分からないため、駅前の空間をもっと分かりやすく整備する必要があると感じる。また、市役所や市民会館その他の公共施設についても各所に点在しているため、一か所にまとめた方が利用しやすいと思う。

## 029

**A1.** 私のwishは、市外から訪れた友人をもてなすために、ちょっとお洒落して出かけることです。

**A2.** 綺麗な駅周辺、心地よく楽しく歩ける歩道、松戸の歴史や地形を感じる空間、デジタルアートミュージアム等の場所を巡り、疲れたら芝生が広がる公園で休憩し、最後に公園に面した小洒落た店でおいしい地元の野菜が食べれたら嬉しいです。

## 030

**A1.**

1. 私が松戸で叶えたいwishは、単館・ミニシアター系の映画館で社会派からドキュメンタリーなどの作品を観た後、ディスカッションや勉強会ができるようなカフェなどの場で、話しあう機会が欲しいです。そうすることで、市民が政治について語らい、草の根的な民主主義が育つと思います。
2. 私が松戸で叶えたいwishは、生涯学習施設で学び直しができる場があることです。社会人になっても、また若者や学生も学習の機会を増やすことが出来ると、より成熟した民主主義の一助となると思います。
3. 安全な生活を送ること。(DV・性犯罪など)

**A2.**

1. 単館・ミニシアターまたはそれに準ずる施設(スクリーンと椅子があれば可)カフェやバーのような空間が併設されていると、議論やワークショップも開催できそう。(押上で、『検察側の罪人』という映画を弁護士が解説するイベントがあり、非常におもしろかったです。)
2. 作業スペースがある図書館、コンセント、机・ソファ等パソコンやオフィス系のソフト、動画編集などのソフトがあっても楽しそう(フィンランド参考)
3. DVや性犯罪の相談センターをつくる警察に対して研修を行う。相談しやすい雰囲気のある場があると嬉しいです。

## 031

**A1.** 私のwishは、公園等のオープンスペースで、多世代、多文化の方が繋がり、多様性を大切にするまちにしたいです。

**A2.** 新拠点ゾーンは都心に近く広い公園があり自然を残している貴重な場所だと思います。公園にはベンチや照明、芝生化、カフェなどを設置し、居心地の良さを向上させる。また、様々な市民活動、地場産業が出店できるようなイベントを適宜開催すれば活気が生まれ、松戸の良さ、松戸らしさを地域内外にPRできるのではと考えます。

### 032

**A1.** 青空の下でくつろぎながら音楽を聴くなど非日常を味わいたいです

**A2.** 日頃、育児をしているお父さんお母さんが、子供達をのびのびと走り回らせたり昼寝させながら、大人の音楽を楽しめる広場があるといいと思います。木かげとカフェと貸出チェア、ついでに読書やキャンドルナイトなど、使い手が創造できる空間です

### 033

**A1.** 私のwishは子どもと一緒に出かけ友達等と過ごすことです

**A2.** 一時預り、プレイルーム、親同士や子育てアドバイザーと飲食しつつ話せるスペース、移動図書館のように規模が小さくても(電子でも)いいので絵本や子育て、料理などの本が読んだり借りたりできる仕組。外遊びできる公園や子連れでも入りやすい飲食店も、ほしい

### 034

**A1.** 公共空間でありながらまるで家のような、家族同士でも、友人同士でも、一人でも、ゆったりと過ごしながら会話をしたり、本を読んだり、遊んだりできる場所が欲しいです。

**A2.** フィンランドのOODIのようなものをイメージしています。

- ・ インパクトのある外観(待ち合わせにも使える、楽しそうな空間)
- ・ 書籍、雑誌、新聞、ボードゲームやパソコンを豊富に貸し出せる
- ・ 時には座ったり寝そべりながら、各自が思い思いの時間を過ごせる
- ・ 街の掲示板、松戸の面白い情報がオンラインとオフラインでつながる

### 035

**A1.** 002さんが書かれた「子供達にいい場所で育ったなと思える場所」というのに大賛成です。私自身がこの地で育って今「いい地で育ったな」と思い感謝できることにWSに出て気づきました。この思いをこれからの世代に繋げたい。松戸はまさに002さんがA2に書いているような場所でした。目新しい事でなく昔からあった松戸の宝を大切にしたい。

**A2.** わたしのwishと全文は郵送させていただきました

64年間、松戸の中心に住んでがっかりすることが多すぎたから松戸は寝に帰るところと割り切れればいいと思っていました。大切なものをどんどん壊し市民の心が置き去りにされているから。今回ご縁があってワークショップに出たことで自分が松戸が大好きだったことに気づかされました。

松戸で生まれて育ったことは大きな文化の中で育つことができたことでした。それがどんなに大きくて、いまの自分があるのは松戸の文化の土壌のおかげであることにとっても感謝しています。これはわたしだけでなく市民みんなのDNA. の中に埋め込まれていることだと思います。これが松戸市民のシビックプライドです。そしてそのお返しを松戸にしたいと今強く思っています。そして若い人に繋いでいきたい。その使命を感じています。コロナの経験から、大切なのは人の愛だと痛感しています。いろいろな町で沢山の新しい街づくりが始まり素敵な建物や街ができはじめています。

色々なところをみれば見るほど、最初はステキだと感じましたが、同じ建築家の設計だったりどこも同じに見えてきます。大切なのは人、主役は人であり、人の残した文化であり箱物ではないと強く思うようになりました。松戸にしかできないものやことは、松戸に残された物を大切に残し続けることです。

ワークショップの中で、「何を作るかではなくなにを残したいかなのではないか」という意見を出した方がいました。その時は、新しいものを作ろうとしているのに何を言っているのだらうと思いましたが、いまそれが一番大切なことと気づきました。残すべきものは文化と人です。戸定邸、園芸学校(私たちはこう呼んで育ちました。園芸学校は市民にとっての文化でした)はもちろんですが、あとは美術と人です。わたしの通う小学校には板倉鼎の本物の絵が昇降口に飾られていて毎日見ながら通いました。中学へは毎日中央公園前を通り工兵学校の門を見ながら通っていました。

松戸市民には皆すりこまれていた風景です。休みの日には園芸学校のフランス庭園で、ピクニックをして、文化祭では苗を買って庭に植えました。どこのうちもそうだったと思います。大切にしたいものは、戸定邸と千葉大園芸学部と、中央公園の旧陸軍工兵学校正門門柱です。そしてあとは現在、市が収集保存している美術品です。板倉鼎、須美子夫妻の絵。この二人の絵のほかにもたくさんの画家の絵。また相模台に東京工芸学校があったことから現在のデザインの礎となるポスターやデザイン作品などが沢山あります。他にも、版画や工芸品。これらは美術品としての価値は世界的なレベルです。

しかもこれを収集するために、市は30年ほど前に美術館準備室を作りました。沢山の税金を使ってきました。すでに投資されているわけです。これは私たちの大切な税金です。これを埋めてしまうことがどんなに損失になるのか。すでに、収集品があることの強みを使った美術館を作ることがわたしの1番のwishです。

市民の30年来の夢を叶えてください。準備室が、いつ美術館管理室になるのかどうぞ、宝物を大切にするために実現してください。あとは、人です。パラダイスエアの活動は否定しません。グローバルも大切です。世界とつながることも大切です。ですが、迎え入れるだけではなんともったいないことか。

松戸のアートもどんどん紹介するべきです。相互受け入れをしないのはおかしい。

松戸に実はどんな素晴らしい人が埋もれているのか。アーティスト、職人、画家、工芸家、料理人、こんなに沢山の才能がある人が密かに住んでいる街は他にないかと思えます。

高齢の方の技術から若い方の新しいアート、そんなものを繋ぐことをまずしなくては、海外から人を受け入れても、松戸は何も育たない。まず丁寧に松戸にどんな人が埋もれているのかを探し出すこと、その人を大切にすることを、望みます。

またパラダイスエアの森さんが松戸のパラダイスエアでの経験を生かしてなぜ八戸美術館なんでしょうか。松戸の税金を使っただけの経験は松戸にフィードバックしないのでしょうか。本当に悲しくなります。

最後に、松戸を決める最終決定が議会と市役所である今の形をかえないと、財産である人を大切にすることにならない。今回のような市民の声が反映する機会を是非継続してください。今回の企画は本当に大変だったことと思います。このような機会を作ってくださったことに心から感謝いたします。

どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

残したいものは、戸定邸、千葉大園芸学部、中央公園の陸軍工兵学校正門門柱、市が収集している美術品(30年かけて集めた)

Wish.美術館...横張先生が話されたルイジアナ美術館のような、その土地や収蔵品に合わせたハコモノ優先ではない暖かい美術館です。

## 036

### A1. 色々な仕事の体験教室(適正確認)

(自分探し、なにが自分に向くか方向性)

※何が自分に向いているか理解して将来の就職に備える。

### A2. 坂川を利用して親水公園を造り

1. 水辺広場: 水遊が出来るように整備: 自然石を並べて対岸へ渡る
2. 自由広場: 自由にいろいろの人が集い話会える: 雨に変わっても、雨宿りが出来る必要有り(一部に屋根必要)
3. 親水緑道: 桜並木で戸定が丘へ  
(四季の変化): 江戸川河川敷へ(水や川に触れることで水や川に対して親しみを深めて自然発展的に江戸川河川敷へむくのでは)

## 037

A1. 私は水害(狩野川台風)で1階の天井まで水が来たことを小学生で経験しています。横張先生のあいさつにもあるように、どんな計画にもそこに安全、平和でないと、すべての案も成立しないと考えています。

またコロナで痛感しましたが、世界中でのパンデミックとなると、自国で基本的な食、産業など基本的、生きる産業が確保されていないと、生命に関係してくると思います。以上より、都市計画の中に常に、①地震、水害などの天災への対策

土台に考えたい。幸いマツドシには田畑(自然)も多くあり、食の自立と災害に備えた貯水池、避難場所(ビルetc)の確保が可能です。そのうえで、未来の市民空間を考えたい。

### A2.

1. 災害に対応した避難場所(空間)の確保
2. 災害に強い街づくり(河川整備、道路準備、貯水池の確保)
3. 藤村氏と岡本氏の対話の中で紹介されていた「大きな複合施設」≒各々が融合しているいいと思います。

先日テレビで他国の同じような施設の紹介がありました。

そこには3Dでつくれるコーナーetc市民が自由に活用できる様々なコーナーがありました。

自前ではとてもそろえられない高価な機械、機具もあり起業する人たちの支えるものがそこにある。何をそろえるのかは皆の話し合いで決めていけばよいと思います。(市民が集える場でありたい。)

追伸

現在のマツドシの都市計画は箱ものをつくるのが中心に見えます。

今回のワークショップでの皆さんの意見と乖離しているように思えました。

## 038

A1. 私が松戸で叶えたいWishは、街中で水鉄砲サバイバルゲームをやることです。ちなみに特定の人たちでやるのではなく、市内外の人誰でも参加可能なイベントであり、このイベントを通じて市内外の見知らぬ人との交流や、市の意外な素顔を発見することができれば良いと思っています。

A2. 日常空間で非日常体験をすることにポイントがあるので、特別な公共空間が必要というよりは、いつもの市街の公共空間をそのまま使うということになります。ただ、どうしても交通の危険性があると思うので、いつもの市街の公共空間を車(自転車を含む)などが入ってくる心配のない公共空間に変形させる必要はあると思います。

039

A1: 私のwishは、子どもたちを楽しませながら、日課をこなしたり、余暇を過ごすことです。

A2: ①本気の公共遊戯スペース(スポッチャ・キドキド・キッズニアなどをイメージ)を有した複合空間。行政センター、図書館、カフェ、コワーキングスペース、ドクターランド、スーパーマーケット、居酒屋など。

040

A1. 私のwishは、緑に包まれた防災拠点 “GREEN BASE松戸”を目指し、安心できる居場所、帰りたくなる街、自慢できる街となるよう、景観に彩を添える木や花など植物を管理するグリーンキーパーとして活動することです。

A2. 無電柱化し、街路樹や草花があり快適に歩ける歩道。既存の木を活かし、広々とした芝生がある公園。

041

A1. 資源を持ち寄り、公共空間づくりするしくみが欲しいです

A2. 共通の目的や関心で集まった人たちが、得意や労力を持ち寄り、過程を楽しみながら公共空間をつくる、素材・技術・人をマッチングする仕組みがあるといいと思います。

一元化されたエントリー&広報システムや集い作業するスペースが欲しいです

例えば、屋内外、官民間問わず、地べた、外壁面、個室など提供されたものに参加者が手を入れ、公共的空間をつくります。

必要に応じて、公共が運用や活用の方向性を補助します

その効果として素材・技術提供者(民間)の宣伝となりうるものです

042

A1. 私のwishは音楽(趣味)の好きな人が繋がることです

A2. 駅近くの複合施設に屋内のフリースペースを設けてミニコンサートを開いたり、周りでは飲んだり食べたりくつろいだりできる座れる場所をつくる。発表や練習の場がほしい人、気軽に音楽を聞きたい人も楽しめる場所。美術の展示スペースやヨガなどのスペースに転用しても